



湖 都 通 信

53

2007.3.1

2007 年度総会報告 2～5

訃報 6

抱負を語る／保育所案内 7

関東支部会報告期 8

保健師部会 9

LITTLE WINDOW 10

会員サービスの向上・組織のスリム化・学生を正会員に

—— 新たな時代へ 2006年度総会を終えて

「湖医会」も四半世紀の歴史を経て会員数約4000名という大所帯になりました。また、大学法人化・卒後研修の変革・個人情報のIT化などにより、本会もこれらに対応した大きな衣替えを強く求められています。

肥大化する幹事組織のスリム化、学生会員の正会員化はそれへの対応の一つです。
(総会報告2～5頁)

滋賀医大保育所

「あゆっこ」開園！

2月1日「湖医会」念願の学内保育所が、福利棟食堂横にオープンしました。

4年前の「保育に関するアンケート」に始まり、年々増加する女性医療従事者が少しでも働きやすい環境をと、医大生協とも連携をとり、大学の協力・主導の下、ようやくオープンとなりました。利用定員は15名で、2月20日現在の登録者は、一時預かりを含め11名です。受託運営者は、株式会社サクセスアカデミー（神奈川県）です。
(関連記事7頁)



山田 尚登氏（医2期生） 滋賀医科大学教授に！！

2007年3月1日付けで、山田氏が精神医学講座教授に就任されました。

滋賀医大駐車場有料ゲート化へ（関連記事10頁）

総会報告

今総会では、学生会員の正会員化をはじめとする会則の改正・肥大化する幹事組織のスリム化
・会員サービス向上案が承認され、具体化にむけて各種会議で検討されています。

会則改正

改正の骨子は、

- ・学生を正会員にすることにより在学中から同窓会に関心を持ってもらい卒業後の帰属意識に繋げていく。
 - ・常任幹事を企画・執行機関として諸問題はスピーディに対応できるようにする。
 - ・会費の見直し。入会金をなくし、看護学科の年会費を引き下げる。
 - ・「部会」を設け特定の属性を有する会員の集まりをサポートする。というものです。
- 条文の改正点は以下の通りです。
ただし、今後条文間の整合性や規定・細則との関係を、幹事会で再検討し必要に応じた修正を行う予定です。

*改正点を太字、(追加は[追加]、削除は[—])で示す

第4章 事業

第4条 本会の目的を達成するために次の事業を行う。

3. 滋賀医科大学学生への 援助及び協力 育英・修学援助、活動支援

第5章 会員

第10条 本会は、次に掲げる会員を持って構成する。

1. 正会員

- 滋賀医科大学卒業生
- 滋賀医科大学学生、滋賀医科大学大学院生 [追加]
- 滋賀医科大学大学院修了者で入会を希望する者

解説

母校や同窓会に「帰属意識」をもつ会員が少なくなってきましたが学生のころから母校や同窓会のことを共に考えることにより、意識を高めてもらおうというものです。
院生については在学中は学生とみなし同等のサービスを受けられますが、卒業時にそのまま「湖医会」の正会員でいるかどうかの確認をします。院生のみの中には滋賀医大以外の大学を卒業している人もあり、大学院卒業後は出身大学同窓会員であることを希望する人もいます。

同、第10条

3. 賛助会員:本会の目的に賛同し、入会を希望する以下の者のうち常任幹事会の承認を受けた者 [追加]
- (1) 滋賀医科大学の教職員および元教職員
 - (2) 滋賀医科大学において研究、研修に従事しているか、かつて研究、研修に従事した者

解説

会員となるために何らかの承認が必要だということになり、常任幹事会での承認を得ることとしました。

同、第10条

- 4. 准会員:滋賀医科大学学生、滋賀医科大学大学院生 —
- 4. 名誉会員:本会に対し特別の功績があった者で、会長が推薦し幹事会で承認された者

解説

上記1, 正会員の改正により准会員はなくなります。

第6条 会員の義務

- 1. 会員は、会長その他の役員の要請に応じ本会の事業に協力しなければならない。
- 2. 会員は、住所、氏名、役職等身分に移動の生じたときは、遅滞なく、事務局に報告しなければならない。
- 3. 会員は、会則において定めた会費を納めなければならない。また既に納めた会費の返還はしない。[追加]
- 4. 会員は、総会に出席しなければならない。但し、委任状をもって出席に代えることができる。

解説

会則整備の1つです。(返還基準の設定は困難であるため)

第6章 役員

第7条 本会には次の役員を置く

1. 会長 1名
2. 副会長 若干名(医学科卒業生及び看護学科卒業生より各1名以上)
3. 幹事 各卒業年度 若干名
4. 常任幹事 若干名 **【追加】**
5. 会計1名
6. 監査役 若干名

解説

常任幹事を役員として位置づけました。

第8条 役員の選出

1. **常任幹事以外**の上記役員は、総会において正会員からこれを選出する。但し、監査役は正会員に限らない。
2. **常任幹事は会長が幹事、会計の中から選び、幹事会で承認する。【追加】**
3. 監査役は他の役員を兼任できない。
4. 幹事会は、役員が欠けたときは、仮役員を任命できる。但し、仮監査役を任命することはできない。

解説

第10条改正解説を参照してください

第10条 役員の任務

1. 会長は、会務を総理し、本会を代表する。
2. 副会長は、会長を補佐し、会長不在の時は、その職務を代行する。
3. 幹事は、会務を掌理する。
4. **常任幹事は、幹事会で承認を得た会務を統括し執行する。【追加】**
5. 会計は、本会の会計を掌理する。
6. 監査役は、業務および会計を調査、報告し、差し止めする。
7. 監査役は、他の役員を補充できない。

解説

現在幹事は100名余りと多く、幹事会は執行機関としては重すぎるのでより迅速に会務の執行にあたる機能を常任幹事会に与えました。またすべての会員の代表である幹事会の承認のもとに行うという縛りにより、常任幹事会の独断専行を防ぐように配慮されています。

第7章 会議

第12条 総会の開催及び議決

1. 定時総会は、毎年1回、会長が招集する。
2. 総会は、委任状も含めて、正会員の1/10以上の出席をもって成立し、議決は、出席会員の過半数を持って決する。但し、賛否同数の時は、議長の決するところによる。
3. 総会の議長は、**幹事会にて互選する。常任幹事から互選にて選出する。**
4. 幹事会の議決または正会員の1/10以上の請求または監査役の請求があった場合は、会長は臨時総会を招集しなければならない。
4. 次のときは臨時総会を召集しなければならない
 - ・会長が特に臨時的重要性に基づき請求したとき
 - ・幹事会が議決を経て請求したとき
 - ・正会員の1/10以上の請求があったとき
 - ・監査役が請求したとき

第13条 総会での議決、承認を得る事項

1. 役員の選出
2. 事業計画、収支予算、事業報告及び収支決算
2. **事業報告、収支決算、事業計画および収支予算**
3. 会則の制定及び改廃
4. 幹事会または監査役が必要と認めた事項
5. 総会で緊急提案され、必要性が承認された事項

解説

単に順番を変えただけです。

第15条 常任幹事会

1. 会長は、必要に応じて常任幹事会を設置できる。
2. 常任幹事会は、会長が副会長、会計及び幹事会の中から任命し、幹事会で承認された常任幹事をもって構成される。
3. 常任幹事会は、会長の主権のもとに、同窓会務の執行に当たる。

【追加】

1. 常任幹事会は、会長、副会長、常任幹事をもって構成される。
2. 常任幹事会は必要に応じて会長がこれを召集する。
3. 常任幹事会の議長は、互選による。
4. 常任幹事会は、第4条に定めた事項及び会計、庶務のうち急を要する案件を協議し、適切な会務の執行に当たる。
5. 常任幹事会での議決は、出席者の過半数をもって決する。但し、賛否同数の時は、議長の決するところによる。
6. 常任幹事会は、必要に応じて、幹事等を委員とする各種委員会を会務執行の補助機関として設置する。常任幹事は委員会の中心として運営に当たる。

解説

今回の改正の柱の一つである「常任幹事会が活動の重要機関になる」ことの位置づけを明確にしました。

【追加】

第8章 部会

第16条 特定の属性を有する会員の集まりとして、部会を設置できる。

第17条 部会の設置は、正会員よりの申請を常任幹事会で審議し、幹事会で承認するものとする。

解説

今回の規約改正の柱のひとつ。すでに「保健師部会」が2006年12月9日に設立しています。

第8-9章 会計

第16-18条 本会の経費は、次の収入をもってこれに当てる。

- | | | |
|-----------|--------|-------------|
| 1. 入会費 | 3,000円 | |
| 1. 年会費 | 6,000円 | 医学科 6,000円 |
| | | 看護学科 4,000円 |
| 2. 寄付金 | | |
| 3. その他の収入 | | |

解説

最近の会費納入の実態を検討し、より適正で安定した会費収入を目的として会費の改定を行いました。また、学生を正会員とする

にあたり入会金も廃止しました。

第17-19条 名誉会員、特別会員、賛助会員、准会員、滋賀医科大学学生、滋賀医科大学院生は、入会費、年会費の納入を要しない。

解説

学生も正会員になったため准会員はありません。賛助会員は本人の意思で入会を希望するので会費を徴収することとしました。

第18-20条 本会の会計年度は、毎年9月1日に始まり、翌年8月31日をもって終わる。

解説

単に数字の変更です

第9-10章 顧問

第19-21条 顧問1名を、特別会員から選出する、顧問は本会对し助言を行う

解説

単に数字の変更です

第10-11章 その他

第20-22条 規定・【追加】 細則

本会の会務に必要な規定・【追加】 細則は、幹事会の議決を経て別に定める。

解説

現在会則の変更に伴い、規定・細則の整備を諮っています

組織のスリム化

現在「湖医会」の幹事数は、医学科80名・看護学科24名ですが、会議の出席率は極めて低く、毎回定足数を確保するための委任状集めに事務局が躍起になっているというのが現状です。

「湖医会」の諸活動をよりスムーズによりスピーディーに企画・検討・執行できるように組織のスリム化を目指すことが承認されました。

今後はこの趣旨に即した具体的な組織作りが検討されることになりました。

「湖医会」サービス

サービス事業開始！

総会で承認を得た「湖医会」サービス事業が、いよいよ本格始動することになりました。

概要は次のようなものです。

(1) 目的

- 1) 会費の納入に見合うメリットを創出・提供する。
- 2) これによって会費の納入率のアップを目指す。

(2) サービスの内容

- 1) 名簿情報提供サービス
- 2) 幹事代行サービス(各種集まりのサポート)
- 3) メーリングリスト作成・管理サービス
- 4) メールを用いた各種情報提供サービス

具体的提供情報は、

- a. 総会・同期会など各種会合の案内
- b. 会員(特別会員として恩師も含む)の異動や訃報など
- c. 母校の近況
- d. 大学医局、卒業生の開業病院・医院、一般の病院・医院からの求人情報(急な代診も含む)

***上記のサービスは会費完納者だけへのサービスに移行予定です。**

すでにメールのある会員には総会終了後に、上記4)「メールを用いた各種情報提供サービス」として、医師募集・保健師募集などの情報を試行送信してきましたのでご存じの会員もおられることでしょう。また会則改正により学生が正会員になりましたが、学生の声を生かしたサービスも検討中です。

会員のみなさまのご希望やご意見をお待ちしています。

message@koikai.org宛にどしどしお寄せください。

今までに
メールで送信した
卒業生からの具体例を
紹介します。

鳥袋盛一(医4) 自然豊かな常夏の島、奄美大島の名瀬徳洲会病院で外科医として働いている鳥袋盛一です。離島は医師不足で精神科以外全ての科を募集しています。離島医療に興味のある方の連絡を待っています。tel 0997-54-2222 nazetoku@aqua.ocn.ne.jp / **中島滋美(医2)** 社会保険滋賀病院健康管理センターの常勤・非常勤医師募集★常勤医師: 仕事内容は、健診の診察と結果の評価など。年収は医員800万円～、医長1,000万円～、部長 1,300万円(諸手当・賞与含む)。勤務時間: 月曜～金曜8:30～17:15。健診バス乗務の場合は午前7:00～夕方。終了時刻は大体15時から18時で、その日によって違います。17時前に帰院することが多いです。開始時刻は通常は午前7時に病院集合ですが、行き先により集合時刻が 遅いこともあります。7時に病院集合ができない場合には、直接健診先に向かい合おうことも可能。土・日勤務をしてもらうこともあり(その場合、もちろん報酬の追加あり、または平日と振り替え)★非常勤医師: 仕事内容は、健診バスの健診(午前7:00～夕

方)または、院内の健診(午前8時30分から半日) 健診バスの勤務時間は、常勤医の説明と同じ勤務日は、定期的・非定期的のどちらでもOK年齢、性別、専門は問いません。報酬は40000円 / 一日、または、25000円/半日。なお、婦人科健診医師も臨時募集しています。連絡・問い合わせ 中島滋美 TEL 077-537-3101 shigemi@ares.eonet.ne.jp / **福永まき絵(看2)** 長浜市健康推進課では、臨時職員を若干名募集中です。産休代替のため、期間は1～3年となっています。保健師の経験がなくても大丈夫です。看護師の免許のみの方も大歓迎です。現在、人手が不足し、非常に困難な状況となっております。地域保健に興味のある方、現在職を探している方などお気軽に声をかけてください。また、卒業生でなくても、近所にお住まいでお仕事をさがしておられる看護職の方がいらっしゃったらお知らせください。メールか電話で気軽にお問い合わせください。よろしくお願ひします。福永まき絵(旧姓:岸塚)@保健師、長浜市健康推進課 0749-65-7779(長浜市健康推進課) fukunaga-makie@city.nagahama.shiga.jp / **石川弘伸(医11)** 医学科9期生の渡邊浩彦先生および医学科11期生の石川弘伸からの求人情報です。醍醐渡辺クリニック産婦人科常勤医師募集★担当科目及び職務内容:産婦人科の外来診療、不妊診療、及び病棟診療・分娩・手術・検査等。勤務地:京都市伏見区醍醐高畑町30-15醍醐渡辺クリニック。勤務日:毎週月曜日から土曜日(内1日は休日)、日・祝日は原則2ヶ月に3回勤務。勤務時間:午前8時30分から午後5時(週1回夜診あり) 年収:1800万円程度(経験考慮)、退職金制度あり(勤務3年以上)。その他:日本産婦人科学会認定医 ☆コメント:当クリニックは昭和46年開院(旧醍醐渡辺病院)以来、分娩と不妊治療を中心に診療を行っています。昨年の診療実績は分娩480件、体外受精750周期です。分娩数は今後現状維持、体外受精は拡大していく予定で年10%程度の増加を見込んでいます。現在常勤医3名(9期生渡邊浩彦:院長、11期生石川弘伸、平成3年金沢大卒の医師の計3名)で診療を行っています。不妊治療のため4人目の医師を探しております。勤務条件は上記のとおりです。平日週1回、土日月1回程度の当直をいただける先生を探しております。☆連絡・問い合わせ:醍醐渡辺クリニック 渡邊(院長)または石川まで。電話:075-571-0226、E-mail: e-mail@dt-wc.jp / **佐藤友哉(医3)** 戸建て医院賃貸のご案内 3期生の佐藤友哉です。甲賀市水口町にて眼科医院を開業しています。平成5年の開業時に地主様に希望通りの医院を建てていただき現在も土地、建物をお借りしています。契約が15年間ですので、今年の5月に近隣の土地で自分で医院を建てて移院することにしました。そこで、医院が空き家になりますので地主様より新しく入っていただける方がいないかと頼まれました。湖医会所属の先生方やご知り合いの先生方で水口方面を考えておられる方がございましたらご検討願えれば幸いです。物件の内容や条件は下記の通りで、図面等が必要であったり条件の詳しいことは私までお問い合わせください。★施設の概要 場所:滋賀県甲賀市水口町東名坂303 建物:鉄骨2階建て、床面積378㎡、駐車場スペース12台 特徴:眼科医院として建てていただきましたので、構造はシンプルです。2階は病室(リカバリールーム)が1部屋と手術室があり、スタッフルームと院長室はとて大きいです。それから、2階の大きな窓からの田園風景は最高です。交通:国道1号線西名坂交差点を北側に曲がり30mくらいの場所です。私自身は天津市本宮に住んでいて毎朝自動車です。所要時間40分。地主様の連絡先と賃貸の条件/保証金:500万円、賃貸料:月50万円(私自身は平成14年まで92万円、現在80万円です)で借りていますので安くなっていますね。私は相場を知りませんので高いのか安いのか判りませんが、交渉の余地は十分にあると思います)私は新医院の建築が順調に進めば、4月末まで現在の医院で診療し、4月30日に契約を終了し明け渡す予定です。どうぞよろしくお願いいたします。甲賀市水口町東名坂303、佐藤眼科・佐藤友哉Mail: dr@satoganka.com / 電話:0748-63-5234 / **横田徹(医7)** 初めまして、7期生の横田徹と申します。当院は交通のアクセスも良く、大学にも近いため卒業生の皆様に常勤医師として勤務して戴けることを望んでおります。勤務条件等は徳洲会の規定に基づきますがお問い合わせいただければ幸いです。当院の院長は滋賀医科大学名誉教授の小玉正智先生(元外科学第一講座教授)です。また常勤、非常勤を含めるといままでに100人以上の卒業生が当院で仕事を立てて戴いております。特に女性医師には勤務時間の選択、及び保育所の利用も可能ですので宜しくお願い致します。病院のホームページをご参照下さいhttp://www.oumi-kusatsu-hp.jp/ ★病院の概況:近江草津病院は平成15年9月1日に開院した総合病院です。地域の病院として産婦人科、小児科から各科専門医療までバランスのとれた医療を目指しています。徳洲会の理念「生命だけは平等だ」をこの地域で良い形で実践するために、現在はプライマリーを中心とした疾患に力をいれていますが、平成16年8月からはPET、PET-CTを導入して高度先進医療を提供できる体制にあります。平成18年から臨床研修病院(管理型)となっています。★病院の沿革・特徴:日本最大の湖「琵琶湖」の南岸、全国一の人口増加率を誇る滋賀県草津市に位置する総合病院です。近隣には滋賀医科大学、済生会滋賀病院、草津総合病院があり、開業医も多い地域です。また立命館大学が近くにあり学生の受診が多いのも特徴です。医学教育にも積極的に取り組み、滋賀医科大学学生の臨床実習は平成18年度8名を受け入れています。またマルチスライスCT、MRI、PETを導入し、癌をはじめとする画像診断の充実にも力を入れています。24時間体制で救急医療にも対応しており、日本救急医学会の認定施設となっています。★連絡先:近江草津徳洲会病院、TEL:077-567-3610、FAX:077-567-3650、e-Mail:mail@oumi-kusatsu-hp.jp/ 担当:外科 横田徹、事務長:植島敏郎

ぎょういちさんのような人になれ

会長 渡辺一良（医2期生）



脇坂行一先生（初代学長）
享年92

湖北、虎姫地方では、学校や家庭において小さい子供にこう言って子育てをする、と聞いたことがある。このぎょういち（行一）さんこそ、われらが初代学長脇坂行一先生その人である。

新設医大のひとつとしてスタートした本学では設立準備の段階で大学の基本構想について、相当な時間をかけてじっくり討議したと聞く。その中心的な役割を担ったのが初代学長の脇坂先生であった。そこで、倫理観に根ざし、科学的探究心の旺盛な医師を養成する、という方向性が打ち出された。

脇坂先生は公平無私、謙譲の精神を備えた、いわば神様のような人格である。この学長と、故佐野利勝、中村恒男の両副学長先生に率いられた滋賀医大は、全体として静謐かつ高潔な雰囲気を持っていた。そういう“親”を見て育った学生は、自ずと後輩へも同様に接することとなり、静謐・高潔が本学におけるひとつの伝統として受け継がれて来たのではないだろうか。

脇坂先生の思い出という点では、若鮎祭の後夜祭でのひとコマを思い出す。学食で行われた宴会の最後に、脇坂先生が皆に呼び掛けて、円陣を作り肩を組むように指示されたのである。そしてマイクも持たずに朗々と歌い出されたのが、『琵琶湖周航歌』であった。しかも、1番から3、4番くらいまで歌詞カードも見ずに……。参加者全員が身体を右に左に揺らしながら、先生の歌声に唱和する。滋賀医大において、宴会の最後に円陣を作り肩を組んで『琵琶湖周航歌』を歌うようになったのは、脇坂学長に端を発しているのでは

る。冒頭の言い伝えを初めとして、幼少時から抜きん出た秀才で、きわめて優秀な血液内科の医師・研究者、イギリス留学中に皇太子の英国ご訪問があった際には、そのご案内役をされたなど、並外れたエピソードの多い中であって、このときは先生がとても身近に感じられて、おおいにうれしかった。自分も滋賀医大一家の一員だ、という一体感をかみしめながら過ごした一夜が強烈な思い出として残っているのは、私だけではなく。

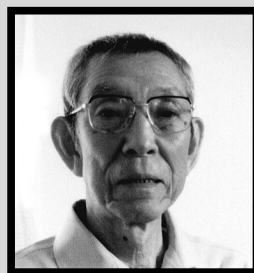
我々、滋賀医大卒業生としては、脇坂先生の目指された方向性、すなわち倫理観に根ざし、科学的探究心の旺盛な医師に一步でも近づくべく努力すること、そして先生が育て上げた母校を大切に想うことが先生への恩返しになることを胸に日々努力することをお誓いして、先生のご冥福をお祈り申し上げたい。脇坂先生どうもありがとうございました。



佐野先生の良い医師への思い

山口大学大学院医学系研究科

法医・生体侵襲解析医学分野教授 藤宮龍也（医1期生）



佐野利勝先生（元副学長）
享年88

我々一期生が特殊なのは良くも悪くも先輩がいないことです。医学や教養の学びをどうすればいいのか、学生時代悩みました。佐野先生はドイツ語担当とともに医学教育全般に関わり、よい医者を如何に育てるかに全力を注いでおられました。そのため、ドイツ語の授業中に時々脱線し、人生論や教養・医師論について話されました。先生は「われわれ自身のなかのヒトラー」等の教養書を多く書かれた教養人であり、私にとって大学教養に触れる絶好の機会でした。それで、授業中によく質問いろいろな話を伺いました。たとえば「試験は学習の機会である」「愛とは時間を割くことである」といった話で、未熟な私には大きな励みとなりました。昼食や休憩・通学時には先生は積極的に学生の中に入り、談笑し、時間を

割いてくださいました。今でもギョロツと眼を大きくし、頭に手をやり、「ハッハー」とニコツとしながら柔らかに話される仕草を思い出します。また、ボランティア活動や施設見学・勉強会等を自主的に行いましたが、先生にはいろいろと面倒をみてもらい、先生の教育への熱意を強く感じました。実際、先生に影響を受けた学生は非常に多いと思います。現在、教養教育は我々の学生時代と異なり、圧縮されて共通基礎教育などと言われ、大きく変質しました。TOEICの点数が共通教育で問題とされるようになってきました。しかし昨今は、人間性教育の重要性が指摘され、プロフェッション教育と教養教育が見直されるようになってきています。私は大学で医学教育を担当していますが、先生に習った言葉を学生に伝えていきます。

同時に、いい医者を育てるにはどうしたらよいのかを考えるとき先生から示された教養、よい医師への思いや熱意を参考にしています。佐野先生には多くのことを学ばせていただきました。本当にありがとうございました。ご冥福をお祈り申し上げます。



楽しく、精一杯がんばります

東邦大学医療センター佐倉病院内科 教授
鈴木康夫 (医1期生)

2006年8月1日付けで、東邦大学医療センター佐倉病院内科教授に就任いたしました鈴木康夫です。私は、1981年に滋賀医科大学を一期生として卒業した仲間の一人です。滋賀医科大学卒業後は、実家のある千葉大学第二内科(現在の大学院医学研究院細胞治療学)に入局し、一年間の研修医生活を送り、その後国保松戸市立病院と千葉市立病院で5年間内科の勤務医として働く貴重な臨床研修の経験を経験させていただきました。そして千葉市立病院在職中に突然、アイルランドという当時の日本では全く馴染みのない異国への留学の要請があり、1987年からアイルランドの首都ダブリンにある1600年代に創設されたトリニティー大学で2年間の研究生活を過ごしてきました。元号が代わった1988年4月に帰国し、その後は千葉大学第二内科で消化器グループの責任者として、主に炎症性腸疾患

やヘリコバクターピロリーの病態を中心とした研究と診療を2003年11月までの15年間従事してきました。そして同年12月1日に内科助教授として現在の東邦大学医学部付属佐倉病院に赴任し、2004年4月1日からは消化器センター長を兼務、昨年の8月1日から教授に就任いたしました。医療センター佐倉病院は大森病院、大橋病院と並ぶ東邦大学付属3病院の一つで、志津という八千代市や船橋市に隣接する佐倉市の最西部に位置し、緑豊かで閑静な千葉県には珍しい高層マンションに囲まれた、南欧風のお洒落な町並みで有名な京成ユーカリ駅から徒歩10分のところにあります。病床は現在300床と中規模ではありますが、一日の外来者数は平均1400人前後と多く、慢性的満床状態改善のため150床の新病棟が本年7月には完成、職員一同新たな病院の門出を迎える準備に忙しい日々を過ご

しているところです。千葉大学第二内科では吉田前教授と齋藤現教授のお陰で、炎症性腸疾患ばかりを追い続ける研究と臨床生活を送ることができました。しかし現在は、呼吸器アレルギー班、代謝内分泌班、循環器班そして消化班(3月からは新たに神経内科班が新設)の40人を超える内科医局員と共に、総合内科学講座の研究と診療教育の向上に努めなければならない立場に置かれ、改めて内科学の深さに悪戦苦闘と感動する日々を送っているところです。少しでも優れた内科医を育て上げること、そして生涯の仕事“最高の炎症性腸疾患診療の実現”を目指し、佐倉の地で楽しく、精一杯がんばる所存ですので、皆様方のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

保育所「あゆっこ」

2007年2月1日開園した滋賀医大保育所「あゆっこ」ってどんな保育所なのでしょう?その概要を質問形式にして説明します。

- Q1 誰が利用できるのですか?
A1 滋賀医大の関係者を対象としています。
在学生も条件により利用することは可能です。
- Q2 保育対象年齢は?
A2 0歳児(生後57日目)～6歳児(就学前)です。
- Q3 保育日&保育時間は?
A3 通常保育は、月曜日～金曜日+第1・3土曜日(祝祭日及び年末年始除く)
基本保育時間は、7時30分～20時
延長保育は、20時～21時

早預かり保育は、7時～7時30分
となっています。

- Q4 月額の保育料は?
A4 基本保育料金(月額)は、世帯の総所得額および保育児の年齢によって違いがありますが、¥32,000～¥49,000となっています。保育料以外に、給食費1食¥300、おやつ月額¥1,000が、必要です。
- Q5 利用申込み方法を教えてください。
A5 滋賀医科大学総務課人事係に、
1. 入所申込書
2. 勤務証明
を保育所利用希望日の2週間前ま

でに提出してください。

以上簡単に滋賀医大保育所「あゆっこ」について説明しましたが、詳しくは、077-548-2886(内線3035、直通)にお問い合わせください。
大学窓口は、077-548-2077
(総務課、丹波)



第8回関東支部会が2006年8月19日(土)、東京品川プリンスホテルで行われました。

例年の如し医8期生の河崎幹雄氏が中心となって、行われ29名が参加しました。恒例の「ミニ講演会」は、元川崎医療福祉大学教授の瀧畑能子氏(医8期生)が講師として招かれ、「小児眼科-弱視・斜視-」について興味深い話をされました。

来年も学生参加大歓迎!! だそうです。夏に臨床実習や帰省で東京近辺にいる予定の医学科・看護学科の学生さんはぜひ参加してみてください。

先輩達が暖かく迎えてくれます! 会費無料!!



参加学生の感想



瀧畑先生の講演



下田氏に教授就任のお祝

来年のマッチングに向けてこの夏から病院見学などにも出かけたのですが、先輩方がどうやって関東に足がかりを作ったのか、また現状がどうなっているのか、いろいろな話を伺い手探りの状態から一歩抜けられた感じです。気さくな先輩方ばかりで、とくに医大生の頃の思い出話がとても盛り上がりました。貴重な機会をありがとうございます。

医5回生 佐藤克彦

初めて参加させていただいた関東支部会でしたが、参加した先生方が私たち学生をととても暖かく歓迎してくださって、楽しい時間を過ごすことができました。

私は3回生で、まだまだ就職のことなど現実的に考えておらず、軽い気持ちで参加したのですが、先生方や先輩の病院での仕事の話や就職活動の話を聞いて自分だったら・・・と将来のことを真剣に考えるきっかけにもなりました。また、病院で患者さんを診るだけでなく研究に関わる道、福祉に関わる道もあるということを知って非常に興味深かったです。普段の学生生活では現役の医師・看護師に仕事の話を聞く機会はありませんため、今回の関東支部会で将来に対して少し視野を広げることができたような気がします。関東支部会についてもっと広く知ってもらい、学生やOBの先生方の参加が増え、滋賀医大の輪が広がるとすごうれいのです。

医3回生 中村玲子

～関東支部会に参加して～
上川智子 (看2期生)

卒業後、毎年案内状をいただいておりますが、一人では心細いからと踏み切れず、今回初めて看護学科の先輩と参加させていただきました。参加するまではどんな会なのだろうと身構えていましたが、在学中にはお会いしたことのない先輩方とご一緒し、時間を越えた母校のつながりを感じました。先輩方の楽しそうに再会されている姿や後輩を暖かく迎え入れて下さる姿を拝見し、このような会をつくってこられたことに敬服致しました。また、関東に就職を考えている看護学科の在生とも話をする機会があり、自分自身の就職活動を思い出し、後輩の皆さんが活用できる情報があるなら提供していきたいと思いました。今後、関東支部会が年に一度の「関東近辺の看護学科卒業生の集い」の場にもなったらと思います。

8月19日、品川プリンスホテルにて行われた「湖医会」関東支部会へ参加させていただきました。マッチングの関係でたまたまその日に東京にいたため参加したという不純な動機だったのですが、OBの先生方は温かく迎えてくださいました。当日は6回生の参加は私だけだったのですが、3～5回生まで、医学科も看護科も、10数名の学生が参加していました。行くまでは単なる宴会かと思っていたのですが、実際は懇親会の前にOBの先生によるミニレクチャーがあり、さらには下田先生の独協医科大学教授就任のお祝いなどがあり、とても充実した会でした。参加させていただいて感じたことは、関東のみならず、日本全国でOBの先生方が活躍していることです。とても勇気付けられました。私はこれから卒業するところまでまだ卵の段階ですがOBの先生方の活躍を励みにしていこうと思います。大変充実した会に参加させていただき、本当にありがとうございました。

医6回生 下村昭彦

関東で勤務されている先生方の話が聞けて、大変勉強になりました。公衆衛生など、いままで興味の薄かった分野について情報が得られたため、参考になりました。

医3回生 村上義彦

将来の参考になるお話が多く、非常に有効なときを過ごすことができました。自分の進みたい科などをある程度しぼってから参加した方が、より興味が持てたように思いました。学年が進むごとにさらに興味が湧く気がします。このような機会を設けていただきましてありがとうございます。

医3回生 関千寿花

保健師会が

『保健師部会』になりました



2006年度の総会で承認された会則改正項目のひとつです。
『保健師会』と『保健師部会』はどう違うのでしょうか…。今年度の
スタッフにまとめていただきました。

大阪府藤井寺保健所 保健師
寶來 徳子(看8期生)

保健師として働く卒業生たちが集まる交流会が今年も開催されました。この交流会は、1998年に看護学科1期生が卒業された年から始まりました。卒業後、多くは看護師として臨床に進む中、保健師として就職するのは、毎年数名です。法律が改正されるなど変革の中で、現場に出てからの悩みや迷いがあっても、相談する同窓生が少ないというのが現状です。そのような中で、悩みを共有し、情報交換ができるように、保健師の同窓会を年に1回行なっています。例年は、おいしい料理を食べながら近況報告したり、仕事の悩みを話したり、情報交換をするのですが今年は、規約変更について話し合いました。

1期生から9期生まで保健師として働いている方だけでなく、参加を希望する同窓生を含め、会員数は130名程度になりました。今後とも会員が増えてくる中で、「個人情報の管

理」や「案内文の通信費」など様々な問題がありました。そこで、滋賀医科大学同窓会「湖医会」から様々な援助を受けるために、「湖医会」へ部会として登録する方向で検討し、登録に必要な規約の変更を行なうこととなりました。(保健師部会員には詳細同封)

12月9日に京都駅付近で行なわれた交流会では、先生方・会員を含め、25名が集まりました。会長の高城さんの乾杯の音頭のあと、規約変更について話し合い、委任状を含め、出席者全員の承認を得ることができました。

規約が承認された後は、みなさんの近況報告や情報交換をし、先生方からあいさつをしていただきました。最後に副会長の亀田さんからのあいさつで閉会しました。他市や他府県の現状を知ることができたり、共通する悩みを持ち、それを乗り越えようとしている仲間を聞いて、励まされたり、これからの仕事についてのヒントがもらえた気がします。おいしい料理とお酒をいただきながらなので、会話ははずみ、楽しい時間を過ごすことができたと思います。

今回、規約変更が承認された結果、名称が『「湖医会」保健師部会』となり、案内文など今後は「湖医会」から発送され、通信費など

の削減などいろんなメリットを受けることができます。また、講演会や学習会などを開催し、保健師としての専門性を高める場になればと思っています。保健師として働く場は、介護保険・介護予防分野、障害福祉、児童福祉、産業保健、学校保健など多様化しています。そのような中で働く仲間と情報交換や悩みを共有することで、日々、現場で働くための元気の素となり、支えとなる会になればと思っています。

最後に(宣伝なのですが)、現在、保健師として働いている卒業生の皆さん、または働こうと思っている卒業生・院生・在校生の皆さん、ぜひぜひ保健師部会の交流会にご参加ください。また、訪問看護師、養護教諭など、地域で働いている皆さんの入会もお待ちしております。この湖都通信が届いている方であれば入会可能です。入会を希望される方は「湖医会」までご連絡ください。



滋賀医科大学同窓会「湖医会」
電話:077-548-2074
FAX:077-548-2094
mail:koikai@koikai.org



【19期生の記念樹移植】

今湖都通信 53 号でもお知らせしていますように、2月1日から滋賀医大内保育所「あゆっこ」が開園しました。その新築工事に伴い、19期生の皆様が、卒業時に記念植樹された桜の木3本を移植することになりました。(このことは、昨年10月にメールのある19期の会員の方にはお知らせいたしましたが・・・)そこで19期の学年幹事の先生方にご相談し、大学側とも話し合い、以前の場所(福利棟横)のすぐ近くに移植しましたのでご報告させていただきます。

もうすぐ、「あゆっこ」の園児の目を十分楽しませてくれることでしょう。



駐車場の有料ゲート化 !!

2007 年 4 月 2 日より
滋賀医大・附属病院内全て

◎ 駐車場整理料

職員及び非常勤職員	1ヶ月 1,000 円
学生・大学院生	1ヶ月 1,000 円
一般来訪者	1時間まで無料
(以降1時間ごとに100円課金)	

看護学科卒業生の

年会費値下げ!

¥6,000 が
¥4,000 に

兼ねてからの懸案事項でしたが
2006 年度総会で承認されました!
同封の振り込み用紙でお振込ください

『部会』を立ち上げませんか

「湖医会」は
特定の属性を有する会員の集まりをサポートします

詳しくは事務局におたずねください



湖都通信の紙面がリニューアルしました

横書き編集になりました

第11号から15年ぶりにデザインも変更

第6回『湖医会賞』

締切:2007年6月30日

受賞候補者募集中!

ホームページでも案内しています <http://www.koikai.org>

研究領域
教育領域
臨床・福祉領域
その他の領域

各分野で活躍する卒業生をご推薦ください。
自薦他薦は問いません。

『湖医会賞』とは・・・

研究や学生等の教育、地域医療等の臨床・介護・福祉その他の領域で優れた実践を行い、医学および医療・福祉の向上に貢献した「湖医会」会員に対して、賞状ならびに副賞(20万円)をもってその栄誉を称えるものです。
ただいま、第6回「受賞候補者」を募集しています。自薦・他薦を問いませんので、多数ご応募ください。

応募方法

FAX 077-548-2094 または メール koikai@koikai.org
詳しくは事務局へお問い合わせください

受賞者

●第1回受賞者 (2002年)
・坪田和史氏・井上慶郎氏
●第2回受賞者 (2003年)
・青木裕彦氏・茶野徳宏氏

●第3回受賞者 (2004年)
・小山恒男氏・猪木 健氏
●第4回受賞者 (2005年)
・藤宮峯子氏・塩入俊樹氏

●第5回受賞者 (2006年)
・岩本あづさ氏・西村栄美氏

ご協賛
ありがとうございます

杏林製薬株式会社 / 扶桑薬品工業株式会社 (順不同)